

今月のことば

仏さまは
すべての
いのちは尊い
と見てくださる
それは
あなたが大切
ということ

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

小池 秀章
こいけ ひであき

阿弥陀如来という仏さまは、「すべてのいのちは尊い」と見てくださいます。すべてのいのちは、仏さまのはたらきに包まれ、仏さまへと育てられていく尊いいのちなのです。

しかし、「すべてのいのち」と言われても、あまり、自分のこととして受け取れない時があります。

お経の中に、「阿弥陀さまは、すべての人を救うために、長い間ご苦労してくださいました」と書かれています。それを、親鸞聖人は、「阿弥陀さまのご苦労は、私一人のためであった(弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとへに親鸞一人がためなりけり)」（『歎異抄』後序）と受け取られています。

それと同じように、仏さまは「すべてのいのちは尊い」と見てくださいるといふことは、「あなたが大切」と言ってくださいているといふことだと、受け取らせていただくことが、大切なのです。

阿弥陀さまは、すべての人を仏の子として、そして、まるで一人子のように、大切に思っていてくださいます。そんな仏さまのお心に出遇わせていただきましょう。

合掌

※上の言葉は、「命が大切だ」と言われるより、「あなたが大切だ」と言われたほうが、生きていくための道になる』（平成十八年度第三回一行詩「いのちのうた」・公益社団法人くまもと被害者支援センター主催）という言葉を参考にさせていただきました。